

無料化に関するＱ＆Ａ

Ｑ１：大野川大橋や米良有料道路はなぜ有料道路として整備されたのですか？

Ａ１：大野川大橋は港湾開発や大在地区の土地区画整理のために、米良有料道路は大分自動車道米良ICへのアクセス路線として、ごく短期間で整備を行う必要があり、その手法として、借入金等を活用する有料道路事業として整備されました。

Ｑ２：なぜ、いま無料化を行うのですか？

Ａ２：以下のような状況を考慮して、早急に無料化の検討が必要と考えています。

- ・公共事業の削減が進む中で、大規模な渋滞対策の事業に着手できる見通しが立たなくなっていること。
- ・大分市東部地区への企業進出による国道１９７号（鶴崎地区）の渋滞が深刻化し、地域の住民生活にも影響を及ぼしていること。
- ・平成２３年１月には、大分駅周辺の連続立体交差化事業に伴う大道陸橋通行止めを予定しており、市内南北方向の混雑対策に万全を尽くす必要があること。
- ・ホーバーフェリーが運航休止となり、空港へのアクセス改善が必要とされていること。

Ｑ３：いつから無料になるのですか？

Ａ３：無料化の是非について検討している段階であり、実施する場合の時期については未定です。

Ｑ４：無料化すると他の箇所では渋滞が激しくなるのではないですか？

Ａ４：大在大分港線の中島十条交差点、大分臼杵線の加納西交差点や北下郡ガード西交差点など、一部で渋滞が増加する恐れがありますが、無料化による国道１９７号の鶴崎橋付近や、国道１０号の旦野

原～中判田間の渋滞緩和効果等を勘案すれば、市内全体としては交通量の分散によって改善につながるものと考えています。

いずれにしても、無料化する場合は交通状況の変化を観察していくことが必要であると考えています。

Q 5 : 大分空港道路の交通量が増えると空港へのバスが遅れたり、駐車場が足りなくなるなどの問題が生じるのではないですか？

A 5 : 大分空港道路で渋滞が生じる可能性は低いと考えています。ただ、空港道路は2車線区間が多いので、交通量の増加に伴って低速車両の影響が出やすくなる可能性もありますが、所要時間への影響は大きくないと考えられます。

また、空港駐車場については状況に応じて収容台数拡大を関係機関へ働きかけていきたいと考えています。

Q 6 : 県財政が厳しい中、無料化のための財政支出は、他地域での道路整備の遅れなど、県民生活に悪影響があるのではありませんか？

A 6 : 無料化にあたって必要となる経費は必要最小限にするとともに、既存の施策に極力、影響が出ないような財源確保策の検討を進めているところです。